

第5回共同ワークショップ及びセミナーをインドネシアで開催

インドネシア公共事業省道路橋梁研究所及び国総研は、地球温暖化をはじめとする環境問題に直面する中で、2009年11月に道路及び交通分野における国際研究協力を実施していくことに合意し、これに基づき、一連の共同ワークショップ及び国際シンポジウムをバンドン、つくば、バリ、ジャカルタ及びシュラワシで開催してきました。

特に昨年10月には、両研究所はバリで国際シンポジウムを開催し、国際的に取り組むべき課題として研究連携プロジェクトを特定しました。その後、両研究所はこれらの研究連携プロジェクトにかかる相互の発表や意見交換を踏まえ、環境に調和した道路及び交通に焦点をあてた研究の実施計画などを内容とするロードマップ（以下、「研究ロードマップ」という。）を合意しました。

一連の共同ワークショップに続く形で、第5回共同ワークショップ及びセミナーはインドネシア西ヌサ州のロンボクで開催され、道路及び交通問題に関心のある研究者や職員の間で情報及び知見が共有されました。共同セミナーには、バンドン工科大学や地方政府の研究者等約150名が参加しました。

共同ワークショップは、それぞれの研究ロードマップにしたがい、研究協力をより深めていくため実務担当者が参加して実施されました。



公開共同セミナーの総論セッションでは、インドネシア公共事業省国際研究協力部長 **Maliki Moersid** 氏の挨拶の後、インドネシア側からは、同部長からインフラマネジメントを支える研究連携にかかる公共事業省の政策について紹介があり、日本側からは、最近の話題として、東日本大震災の概要及びその対応について紹介しました。

個別の技術セッションでは、両研究所から以下の道路や交通に係る研究連携テーマについて、効率的に成果をあげていくための興味深い発表や意見交換が行われました。

- ・ 道路環境及び交通に係る政策
- ・ 計画及びマネジメント
- ・ 舗装及び材料
- ・ 道路安全

結論の1つとして、両研究所は、来年つくばで共同ワークショップを開催することに合意しました。本ワークショップでは、各研究ロードマップに基づく研究活動及び成果について中間報告を行い情報共有を図る予定です。また、今後、各研究連携分野に興味のある他国からの参加も歓迎する旨、合意しました。

(国際研究推進室)